答え 1月14日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



タロとジロの日にちなんで「タロとジロクイズ」

【第1問】昭和33年、南極の昭和基地に残された犬は、何頭だったでしょう？

① 5頭　② 15頭　③ 50頭

観測隊が悪天候で急に引き上げることになり、15頭の犬が鎖につながれたまま残されました。1年後に生きて見つかったのは、タロとジロの2頭だけでした。

【第2問】犬たちは南極で、どんな仕事をしていたでしょう？

① そりを引く　② 家の番をする　③ 魚をとる

雪と氷の上で荷物を運ぶため、犬ぞりを引いていました。寒さに強い樺太犬（からふとけん）が選ばれ、北海道で訓練されてから南極へ向かいました。

【第3問】タロとジロは、どんな関係だったでしょう？

① 親子　② 兄弟　③ いとこ

タロとジロは、北海道で生まれた兄弟の犬です。兄がタロ、弟がジロ。兄弟でよりそって生きのびたのだろうといわれています。

【第4問】この出来事をもとにした映画「南極物語」（昭和58年）の主演は？

① 高倉健　② 石原裕次郎　③ 渥美清

映画「南極物語」は高倉健さんの主演で大ヒットし、当時の日本映画で最高の配給収入を記録しました。犬たちの姿に、日本じゅうが涙しました。

【第5問】タロは、そのあとどうなったでしょう？

① 南極に残った　② 行方が分からなくなった　③ 日本に帰り、北海道で暮らした

タロは昭和36年に日本へ帰り、北海道大学の植物園で暮らしました。亡くなったのは昭和45年、14歳を過ぎてから。犬としてはとても長生きでした。

【第6問】ジロのはく製が見られるのは、どこでしょう？

① 京都の博物館　② 北海道の動物園　③ 東京・上野の国立科学博物館

ジロは南極に残って観測隊と暮らし、昭和35年に病気で亡くなりました。はく製は東京・上野の国立科学博物館にあります。タロのはく製は北海道大学の植物園にあります。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます